

男女平等・共同参画推進事業～粋メンプロジェクト～

フタバで・あ・そ・ほ

1/12(日) 男女平等推進センターサロン

高岡市では「認めあい 支えあい 共に輝く ひととまち」を目指して、男女平等・共同参画の視点(参画・地域・両立・男性・DV・推進)で様々な事業を展開しています。今回は、『両立・男性』を視点に、お父さんやおじいちゃんが、お子さんお孫さんと一緒に作る楽しい工作教室を開催しました。



親子で楽しく、オープントースターで作るフタバキーホルダーに挑戦!



けん玉、めんこ、こまもあるよ。おとうさん、上手なやり方おしえて!

粋メンとは、家事や育児、介護や地域活動等にも積極的な高岡の男性のことです



市民企画講座

みんなの意見が平等に出せて話し合える。ファシリテーション基礎講座



- 第1回 11/17(日) ファシリテーションの基礎
場づくりの大切さと、議論の見える化の必要性を学びました。
- 第2回 12/15(日) チームファシリテーション
起承転結を意識した話し合いの進め方や、整理の仕方を学びました。
- 第3回 1/19(日) 話し合いを深めるいろんな方法を学ぼう
ファシリテーターの5つの役割と、12の基本動作を学びました。
講師：岸 靖久さん(ふあん・ふあしい・CAFE 代表)
企画：ふあん・ふあしい・CAFE

〔受講者の感想〕
・仕事や生活に行かせるスキルですぐに実践したい。
・課題や問題に思いっきり話しあうことの大事さを認識しました。
・似た事柄で悩んでいるのは、わたしだけじゃなかったと安心した。
・知ることが出来てよかった。
・楽しく学べた。

養成講座

ファシリテーター養成研修 in 高岡 【主催/講師】NPO 法人レジリエンス

- 11/30(土) デートDV版
レジリエンスが実際に中学、高校、大学で使用しているデートDV予防のための講義、ワークショップの方法を学びました。
- 12/1(日) DV版1Day
・レジリエンス☆こころのcare 講座テーマからDV・トラウマを理解する
・ファシリテーターにとって必要なこと
・性暴力に関する基礎研修他



男女平等推進センターネットワーク会議開催

1月28日(火)に、有識者や各種団体の代表、公募委員で構成する男女平等推進センターネットワーク会議を開催しました。会議では、DV対策や男女平等・共同参画の取組について協議が行われ、中学・高校生などの若い世代への働きかけや、地域での啓発活動についての意見がありました。



平尾 隆さん(男性介護者の会「みやび」代表)

日本女性学習財団奨励賞を受賞



公益財団法人日本女性学習財団が、男女共同参画社会実現に向けた実践や研究をまとめたレポートを募集した「日本女性学習財団賞」で、平尾 隆さんが大賞1点に次ぐ奨励賞(3点)に選ばれました。2月15日(土)に東京で、贈呈式と、平尾さんら受賞者を交えたパネルディスカッションが開催されます。

◆受賞レポート紹介◆

<妻を介護して15年：支え合いの仕組みづくりへの挑戦—男性介護者の会「みやび」の活動を題材にして>

男性が介護を担うとき、どのような問題に直面するのか。なぜそれが問題として起こるのか。問題解決のため立ち上げた当事者団体は地域にどのような変化をもたらしたか。10数年にわたり妻を介護する筆者が振り返りながら検討する。

◆講評内容◆

40代男性介護者の八方ふさがりぶりと、問題の社会的な構造が浮き彫りにされていく過程を上手く伝えており、問題意識は的確かつ明確である。
立ち上げた男性介護者の会の活動は「学びがひろく」を実践し、読み手に希望を与えてくれる。

トーク&トーク

私流・社会とのつながり方 【主催】高岡くらしの会、高岡市 1/12(日)

病気や事故などで障がい者となった人やそのご家族から、身体の障がいを社会との障がいとせず、社会と積極的につながる活動についての話しを聞き、ともに考えました。

- 話し手 ◆中島 基樹さん 中島 依子さん
◆坪田 佳奈さん
◆大野 美絵さん 大野 賢司さん
コーディネーター
川上 純子さん(高岡くらしの会代表)

「つらかったことは子どもの様な扱いを受けていたこと」「もっとみんなが命の大切さについて話し合う必要がある」「人の幸せのために役立ちたい」
中島基樹さん(指談で)

自宅をリフォームし、コミュニティハウス「ねじまき舎」として週1回開放している。重度障がい者が「働くこと」「学ぶこと」「楽しむこと」を体験し、地域でいきいきと過ごせること、また障がいのある子どもを持つおかあさんなどの相談、情報交換の場をめざしたい。
中島依子さん

障がい者から発信していくことが大事と、『歩む会』というブログを立ち上げ、情報発信、交流の場、交流スペースとしての会を月に1回開いている。障がい者と健常者が交流し、一緒になって考えていくことが大事。リアフリーマップの作成等もしている。
坪田佳奈さん

障がいの介助と下の子の育児に追われていた時は、社会とのつながりがなくなった。情報を得るための組織や仲間、家族会の必要性を実感した。自宅をフリースペースねじまき舎として月に1、2回開放している。
大野美絵さん

〔受講者の感想〕

- ・助ける、助けられるが当たり前である社会にしていきたい。
- ・障がいの方にどう接してよいか困惑していたが、お互いに歩み寄り話し合うことが大切だ。
- ・つながることの大切さを改めて感じた。
- ・みなさんの「ないから作ろう!」というパワーはすごい。
- ・こういう会が開催されることが、前に進む一歩になるだろう。
- ・私も怖がらずに、自分から社会に動いて出ようと思う。
- ・「命の大事さについて考えていきたい」「人の幸せのために役立ちたい」などのことばに、人として立ち返らせてもらった。



男女平等推進センター日誌抄 12月・1月

12月1日(日)	ファシリテーター養成研修(1Day) in 高岡 【主催:レジリエンス】	1月12日(日)	男女平等・共同参画推進事業 ～粋メンプロジェクト～ 「フタバで あ・そ・ほ」
14日(土)	市民企画講座 フォロアアップ講座 【企画:コーチングサロンゆう】		・トーク&トーク『私流・社会とのつながり方』 【主催:高岡くらしの会・高岡市】
15日(日)	市民企画講座【企画:ふあん・ふあしい・CAFE】 ファシリテーション基礎講座 【第2回】チームファシリテーション	19日(日)	市民企画講座 ファシリテーション基礎講座 【第3回】話し合いを深めるいろんな方法を学ぼう
20日(金)	話スペース「ほこ あ ほこ」 誰でも安心して話ができる場	24日(金)	話スペース「ほこ あ ほこ」
25日(水)	男女平等推進プラン情報誌 「ありて」第8回編集会議	28日(火)	男女平等推進センターネットワーク会議
		29日(水)	「ありて」第9回編集会議